

アスクル、経済産業省「GXリーグ基本構想」への賛同を表明

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:吉岡晃)はこのたび、経済産業省が公表した「GXリーグ基本構想」に賛同しました。

「GXリーグ」とは、GX(グリーントランスフォーメーション)に積極的に取組む「企業群」が、官・学・金でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーとともに、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場として設立されるものです。「GXリーグ基本構想」は、「GXリーグ」の実装に向けた詳細設計の議論と取組の実証を2022年度に進めていくために、「GXリーグ」がどのような世界観を目指し、どのような企業群と共に、どのような取組を、どのようなスケジュールで進めていくべきか、といった点についての基本的な指針を示したものであり、当社はこの方向性に賛同し、「GXリーグ」の実装に向けた議論と取組の実証のための準備に参加していきます。

当社は、2016年7月に宣言した「2030年CO2ゼロチャレンジ」をはじめ、2017年「RE100」(※1)「EV100」(※2)加盟など、企業としての気候変動対策に積極的に取組み、EV車両や再生可能エネルギーの導入を進めております。本基本構想への賛同を契機に、より多くの企業群との連携を通じ、取組の加速に挑戦してまいります。

(※1)「RE100」(Renewable Energy100)は、事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する国際ビジネスイニシアチブ

(※2)「EV100」(Electric Vehicles 100%)は、企業による電気自動車の使用や環境整備促進を目指す国際ビジネスイニシアチブ

アスクルは今後も「エシカル e コマース」として、サプライチェーン全体における気候変動対策を進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

◇GXリーグ基本構想について(経済産業省)

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/GX-league/gx-league.html

[参考]アスクルが目指す環境経営(アスクルWEBサイト)

URL:<https://askul.disclosure.site/ja/themes/90#goals00>

【関連プレスリリース】

●2021年12月1日:再生可能エネルギーを追加導入 グループ全体の電力使用率 57%を達成

<https://pdf.irpocket.com/C0032/ZJpV/QLgU/rMKD.pdf>

●2021年7月30日:ラストワンマイル向けに新たな電気自動車を導入

<https://pdf.irpocket.com/C0032/GbYe/mkjE/f3t6.pdf>

※本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。